（様式第３号）

企業・団体名 （ 株式会社　サンケン ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハッピーパートナー企業に登録し、性別に関係なく、仕事と家庭生活等が両立できるような職場環境を整備し、女性従業員の育成･雇用に積極的に取組んでいします。					●			●		●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハラスメント禁止を社内規則に明記してあり、社員が見やすい場所にハラスメント相談窓口連絡先等を社内掲示している。					●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本（必須）	○		毎週水曜日をノー残業デーに制定し、各社員の月間単位の残業時間を把握し、労働時間の多い社員にはフォローアップしている。					●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	現時点では外国人労働者の雇用をしていない。				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		各現場単位での、工種別の作業計画書を作成し、現場管理者、作業員との危険作業の情報を共有している。			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		年に2回、代表者と社員との個別面談を実施し、仕事の悩みや、人間関係等をヒヤリングし、社員のメンタルヘルスケアを実施している。			●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		正社員であれば、誰もが国家資格や車両免許、作業免許等にチャレンジでき、取得費用は会社負担制度を設けている。					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本（必須）	○		年に2回、代表者と社員との個別面談時に職務や役割に応じた目指すべき方向性について、話し合っている。				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本（必須）	○		現在非正規社員は雇用していないが、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている。					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		各社員の家庭環境を考慮して、有給取得単位を30分単位で取得可能にしている。	●		●		●			●		●							●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本（必須）	○		現在該当者はいないが、将来育休取得対象者がいる現場に対して、人員補充や業務引継ぎを実施し、フローアップする計画である。			●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）			年に一回、社員の健康診断の実施及び再検査等の該当者には、再検査のための通院、受診を指示している。			●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）				●	●	●		●			●		●	●						●
14	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		再生紙を利用し年間のコピー用紙使用量を削減し、一般廃棄物の排出量を軽減する。											●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		社内の蛍光灯をLEDライトに変更し、年間の消費電力を抑え、CO2排出量も抑制する。							●					●				
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		各工車両を排出ガス対策型建設機械を導入し、排出ガスの抑制に取り組んでいる。							●					●	●				
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）		○	弊社では有害化学物質を使用していない			●			●					●	●					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本（必須）	○		各現場での水替え作業時、生物多様性や生態系に影響が及ばない様に、沈殿槽を設置し河川、水路の水質環境に留意している。						●								●	●		
19		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本（必須）	○		現場での資源利用の削減、再利用を推進している。												●		●			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本（必須）		○	現時点では再生エネルギーの利用設備はないが、オフィスへの太陽光パネルの設置によるグリーン電力の使用を検討する。							●						●				
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ（任意）						●			●	●					●	●	●	●		
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ（任意）															●					
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）										●		●			●	●	●	●		
25	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		汚職･贈収賄禁止等を含む行動規範を社内浸透を図っている。																●	
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。																●	
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	当社は特許、商標等知的財産権の取得を行っていない。								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本（必須）	○		社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																●	
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**<u>いないこと</u>**を確認している		○	○	チャレンジ（任意）			当社は紛争鉱物を取り扱っていません。																●	
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ（任意）								●			●		●		●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ（任意）						●					●	●	●							●

項目番号		チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本（必須）		○	製品等の製造を行っていない。			●									●					
33	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		公共工事での工事完成評価点を維持するため、社内で竣工検査結果報告書を作成し、社員で情報共有をおこなっている。									●								
34	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）									●						●	●	●	●		
35	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本（必須）	○		地域除雪業務を委託契約し、冬期間の市道除雪作業を実施している。				●					●		●	●		●	●		●
37	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）			各現場毎に工事完了までに現場周辺のゴミ拾いや、側溝清掃などを実施している。				●							●			●	●		●
38	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ（任意）			公共工事施工時の使用材料は極力県内産資材を使用している。								●	●		●	●	●				
39	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本（必須）	○		経営理念を掲げ、社内に掲示し、名刺等にも明示している。								●	●								●
40	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本（必須）	○		各現場による月に1回、4時間以上の安全教育訓練時に、法令遵守等を学ぶ時間を設けている。																●	
41	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本（必須）	○		代表取締役が、CSR管理者を担当している																●	
42	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本（必須）	○		様々な会合等に参加し、ステークホルダーと会話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、相手を刺激するような会話には十分注意し、お互いが献身的に具体的な内容を話すよう心がけている。																●	●
43	組織体制	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本（必須）	○		DX推進に必要な機器、自動追尾型測量器械や電子黒板の使用、ドローンによる航空撮影などの、システム導入を行っている。			●					●	●								
44	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ（任意）																			●	
45	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）																			●	
46	組織体制	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ（任意）												●		●		●			●	
47	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ（任意）											●	●								●

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地震や水害時による災害時の仮設トイレの不足を補うため、快適トイレの使用及び増設	建設現場に設置する快適トイレの増設								●	●		●						

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。